

#### どんな研究？

スマートフォン（アンドロイド）アプリ「人間関係向上計画」は、通話、SMSおよびGmailのやり取りのデータを、不可逆な暗号処理のもと収集します。これらのデータを用いて、やり取りの頻度、関係の強さなどの視点からユーザーの人間関係を可視化し、人間関係向上のきっかけを提供します。

#### 何がわかる？

「人間関係向上計画」は、社会科学における社会関係資本論をベースに、情報通信技術を活用して豊かな人間関係と活力ある社会を実現することを目的としています。本研究は日米を中心とした国際比較研究の一部であり、日米のユーザーによる実証実験を実施しています。

#### 状況設定

これまで社会科学研究では、人間コミュニケーションデータの収集の重要性は指摘されてきましたが、その測定は困難でした。「人間関係向上計画」は、スマートフォンを利用して通話、SMS（ショートメッセージサービス）、Gmailの履歴情報を収集します。収集された情報は不可逆的な暗号処理をされた後、モバイルコミュニケーション研究のためのデータとして役立てられます。

「人間関係向上計画」は収集された履歴に基づき、スマートフォンの電話帳に登録された相手とユーザーとの連絡履歴を可視化します。ユーザーは自分の人間関係を見直し、「弱い紐帯」を活性化することで、人とのつながりを広げ、強めていくことが期待されます。

#### 研究内容

##### ■日本とアメリカでの実証実験（2012年1月～4月）

実際にアンドロイド携帯電話を使っている人を対象に、日本とアメリカでそれぞれ200人規模の実証実験を行いました。実験の参加者には別途調査票によるアンケートを行い（インターネット調査）、個人の属性や意識・行動の傾向とモバイルコミュニケーションの関係を調べています。また、モバイルコミュニケーションに関する自己申告と実際の利用状況の差異についても調べています。

##### ■Google Playでのアプリ公開（2012年4月8日）

日本語版アプリはGoogle Playで一般公開を開始しており、現在まで約5万回以上インストールされています。英語版も間もなく公開予定です。

##### ■メディア情報

NHKクローズアップ現代「自分の人生、どこまで記録？～広がる“ライフログ”～」(2012年4月9日放送)でアプリが紹介されたほか、読売新聞、日経産業新聞でも取り上げられました。

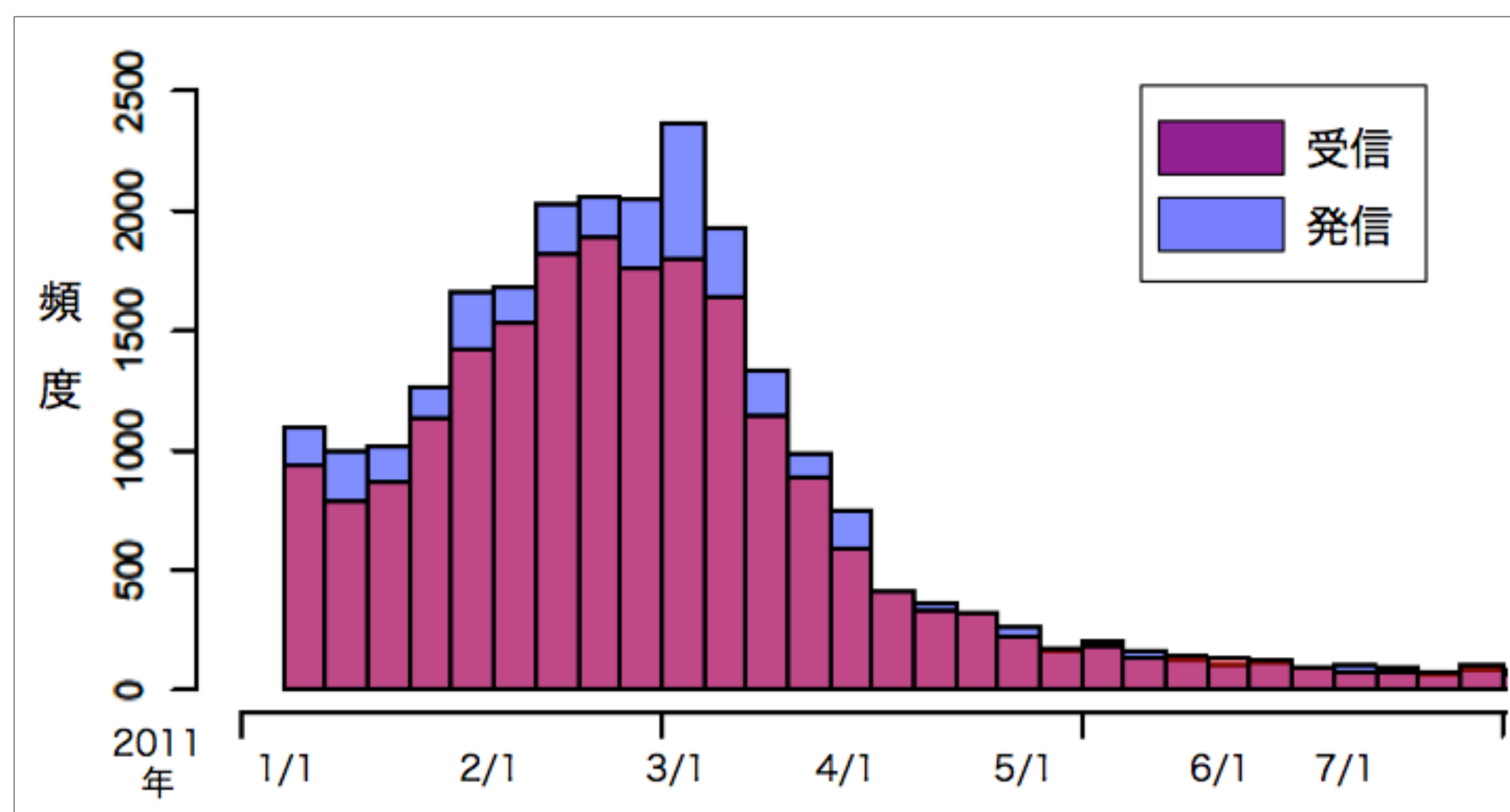
##### ■社会現象とモバイルコミュニケーション

「人間関係向上計画」アプリの前身となるスマートフォンアプリ「コミュニケーション・エクスプローラー」を用いて収集したデータをもとに、東日本大震災発生前後でどのようなモバイルコミュニケーションの変化が生じたのか分析しています。



☆「人間関係向上計画」アプリ画面 ☆

(上左)人間関係図…連絡をとった相手との関係を表示  
(上中)連絡履歴図…特定の相手との連絡の頻度の変化を表示  
(上右)社会偏差図…他のユーザーと比較したときの自分の人間関係の特徴の視覚化



東日本大震災前後のモバイルコミュニケーションの変遷